

祭りを色どるもの



だしひきながぎ
山車曳長着



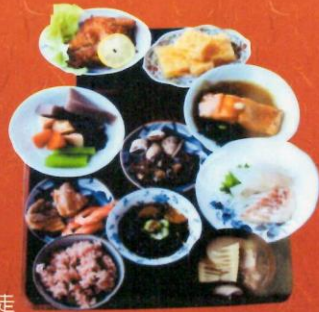
唐人服 (山車の人形に使用)



祭りの半てん



祭りの半てん



酒田祭りのご馳走



つのだる
角樽



さしだる
指樽

市民の支えによる酒田祭り



平成20年 酒田青年会議所が
復活させた立山車



獅子頭 (昭和)



港南小児童の山鉾製作写真



酒田祭り紙人形 高橋けい子 作

小コーナー

まつりを楽しむ酒田の町人

紅花染振袖
(江戸時代)



えんたん
市原円潭筆
山水画
(明治5年)



第157回 企画展示 酒田まつり創始400年記念 館蔵品展

酒田の「山鉾」展

開催期間

平成21年5月14日(木)~7月20日(月)

開催時間 午前9時~午後4時30分

休館日 期間中無休

入館料 大人/100円 児童・生徒・学生/50円
(土・日曜日は小・中学生無料)

酒田市立資料館

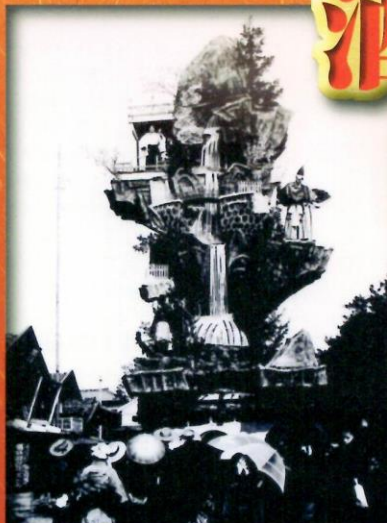
酒田市一番町8番16号

TEL 0234-24-6544

e-mail:sakata-city-museum@fork.ocn.ne.jp



「龍宮城」(明治40年)
きよくぼ
玉鳳画 肉筆



だし
中町の山車写真(明治35年)

開催にあたって(第157回企画展)

酒田まつりの歴史

慶長14年(1609)に始まり、その後今日まで一度も欠かすことなく受け継がれてきた上・下日枝神社の例大祭である酒田まつり(山王祭)は今年で創始400年を迎えました。

江戸時代、北回り航路が開かれたことによって繁栄した湊町酒田の町人の心意気により年々盛大になったまつりは、その山車行列の大きさと華やかさで江戸・大阪にまで伝えられるようになり、諸国の廻船は山王祭をめぐして酒田湊に入り、大変な賑わいを見せたそうです。

本企画展では、創始400年本年祭を記念して、館藏品による酒田の立山鉦と山車行列の写真、鉦師・芳湯一聲の山鉦の軸装画、酒田の旧家から出た今年初公開の傘鉦の下絵図と考えられる資料、神宿組に関する資料、行列版画絵、山車行列人形の展示をとおして往時の酒田町人のまつりへの心意気を伝えるとともに、400年の歴史と伝統のある酒田まつりを支える市民の様子も写真で紹介いたします。

本展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、各位並びにご協力賜りました多くの方々に心からお礼申し上げます。

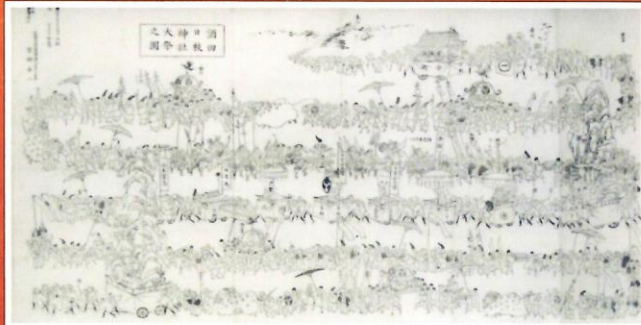
資料提供者及び協力団体

佐藤政寿氏、佐藤昇一氏、竜蔵寺、酒田商工会議所、酒田市立港南小学校、酒田市観光物産課、酒田青年会議所



獅子頭(安政2年) 昌義 作

最後のタテ山車
(明治39年の写真)



日枝神社大祭の図(明治22年) 富樫喜八 製作 版画絵



遷座300年祭日枝神社写真帳

酒田の「山鉦」



酒田の旧家から発見された「傘鉦」の下絵図



だしがしら
酒田山王祭山車頭



「嘗我兄弟討入」の図
芳湯一聲 肉筆



「富士の巻狩図」
芳湯一聲 肉筆



「収穫の図」(明治40年)
玉鳳画 肉筆

(明治35年)

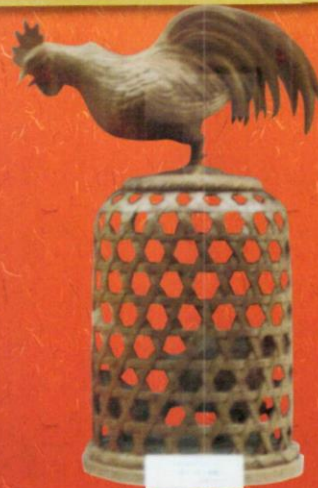
神宿



すかけこんいとおとしもがみどうまる
素懸糸系威最上胴丸(江戸時代)



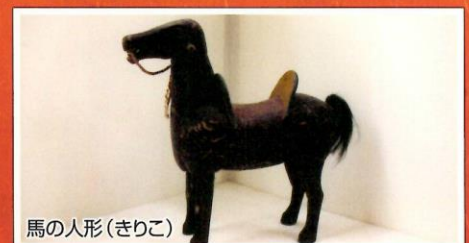
ぎぼし
擬宝珠(江戸時代・市指定文化財)



すかしほりとりかごおきもち
透彫鶏籠置物 後藤三惣 作
(江戸後期・市指定文化財)



仲町御神宿鉦之図(昭和5年) 村井石斎 筆



馬の人形(きりこ)